

けやき会通信

皆様、よろしくお願ひいたします

管理栄養士 湯本 菜月

皆様こんにちは、暑い日がまだまだ続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。この3月に管理栄養士になりました、湯本と申します。糖尿病教室には何度か伺わせていただきましたが、巻頭言は初めてですので少し自己紹介をさせていただきますと思います。



私は新潟県の中でも自然豊かな地域の出身で、なんと信号が2つしかない地区で育ちました。実家は農業をやっていたので年中美味しい農作物に囲まれる生活でした。不格好だけど新鮮な野菜が並ぶ食卓や、味噌や梅干しの作り方など春夏秋冬、食べ物から多くを学びました。このような生活を送る中で「食べること」は「生きること」であり、食の大切さを体感しました。高校卒業と同時に上京し、阿出川室長の後輩にあたる学校に進学し勉学に励んだ後に栄養士として就職致しました。

私が管理栄養士を目指そうと思ったきっかけは「食」が身近にあったこともそうですが、祖父の病気でした。祖父は農業をしていたこともあり、食べるのが好きでよく食べる人でした。病気になってから食事療法がうまくいかず食事量は減り活気もなくなっていました。そんな祖父の姿に衝撃を受けたのと同時に、病気でも変わらずに食事を美味しいと思ってもらいたいと考え管理栄養士を目指しました。服用している薬の種類や化学療法などで味覚の変化は免れないとしても一人ひとりに寄り添い、心身ともに良い方向に向かうようにサポートしていきたいと考えます。

様々なご縁があり関東中央病院に勤めさせていただいております。私が所属する栄養管理室では糖尿病療養指導士の資格を先輩方全員が取得しております。このような環境で働けることを光栄に思うのと同時に自分自身も糖尿病療養指導士の資格取得のために勉めたいと考えます。また、櫛会の皆様にもご指導いただきながら、精進して参りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

以前のようなかたちで糖尿病教室の開催、食事提供はまだ難しいですが、関東中央病院のHPにて管理栄養士が考案したレシピが掲載されています。ぜひそちらもご覧いただけましたら幸いです。(QRコードを読み取る方法でもご覧いただけますのでお声掛けください。)